

2011 年 9 月 20 日

**「(仮称) まであ共同農園・相馬」の開設について**

NPO 法人エコロジー・アーキスケープ

代表理事 糸長 浩司

「NPO 法人エコロジー・アーキスケープ (EAS)」と「愛する飯舘村を還せプロジェクト 負けねど飯舘!!」では、行政の支援が行き届いていない飯舘村民の避難生活の紐帯維持や、避難生活充実に関する支援活動を展開しています。

今回実施した共同農園開設プロジェクトは、お年寄りの日中の就労、健康維持等を目的としたものです。全ての仮設住宅への共同農園開設を目指していますが、この第一弾として相馬市大野台仮設住宅団地入居者向けの農園（相馬市初野町地内）が完成しましたのでご報告いたします。

なお、本農園の整備にあたっては、避難先の近隣農家のご理解と多大な協力もいただいています。

**◆共同農園開園式を開催****【日 時】** 2011 年 10 月 5 日（水） 9:30～10:00**【場 所】** 相馬市初野町 地内の共同農園〔地図中：共同農園①〕

※ 現在、共同農園の開設に併せて整備した農作業用の納屋の愛称を、農園利用者を対象にして公募中です。当日は、決定した愛称を記した看板の設置も行います。

**◆共同農園の開設と、作業用の納屋の建設について**

弊 NPO では飯舘村民の避難生活等を支援するため、募金をお願いしています。国内外から寄せられたこれらの支援金から、今回の納屋の建設費用を充当させていただいています。

なお、納屋の建設は、飯舘村（現在避難中）の「今野建設工務店」に発注しました。

**◆共同農園の土壌安全性検査について**

農地の安全性を判断するための土壌分析にあたっては、広島大学大学院工学研究院・量子エネルギー工学研究室の遠藤暁准教授、ならびに研究室の学生の皆さんの協力を得ました。

分析の結果、農水省の基準をクリアしていることが分かりましたが、農作物の継続的な検査（県の検査機関等において）を実施していく予定です。私たちは、検査費等も支援していく予定です。

**◆共同農園開設に向けた打合せ等の経費について**

共同農園の開設、施設建設にかかる住民ニーズ調査、関係者打合せの経費は、日本財団 ROAD プロジェクト 東北地方太平洋沖地震 災害にかかる支援活動助成の助成金を活用しました。

**【本件に関する連絡先】**

NPO 法人エコロジー・アーキスケープ 事務局

TEL：03-5232-1080 e-mail：eas@bronze.ocn.ne.jp

＜資料＞



建設前の現地踏査・打合せの様子



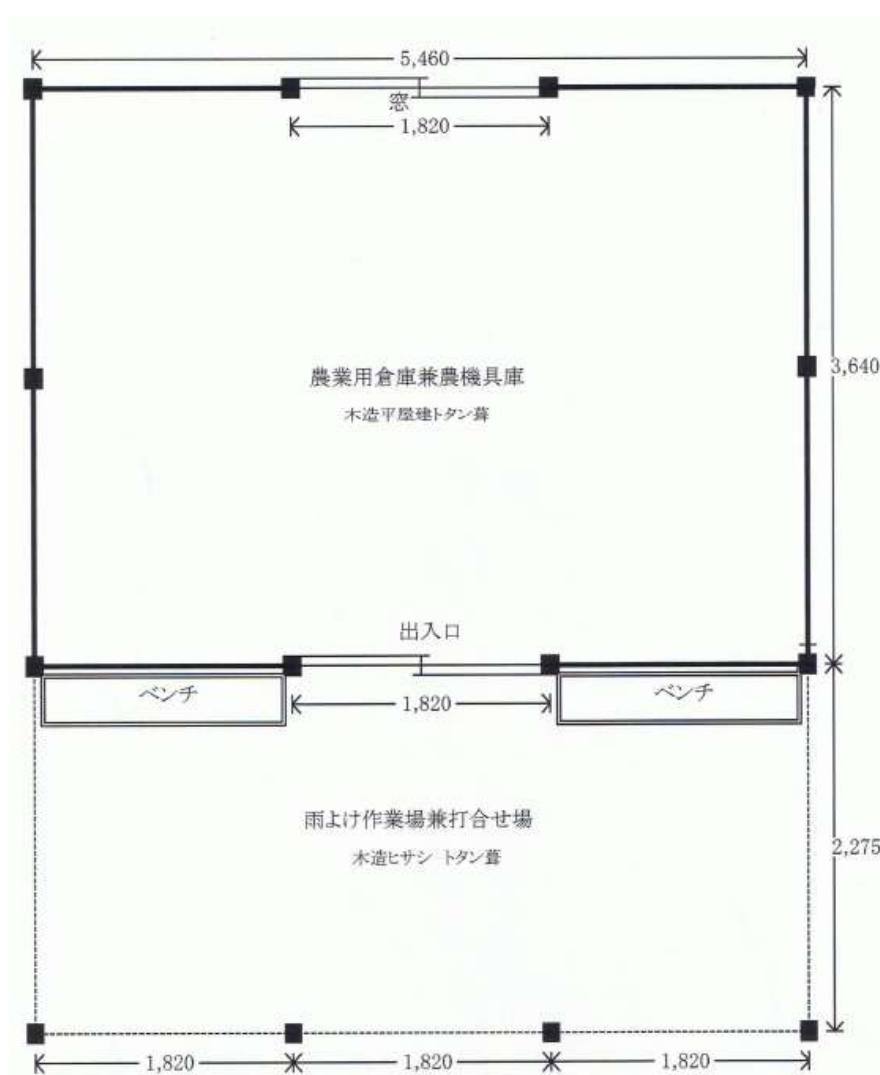
建設中の納屋（北西側より建物の臨む）



整備した納屋（西側より建物の臨む）



納屋で休憩中の共同農園利用者



建設した納屋の平面図





共同農園位置図